

会社員が勤め先を辞めず、週末だけ農業に従事するのを支援しようというアイデアが農林水産省内で浮上した。農家の高齢化などに伴う耕作放棄地増加の対策として、農業に縁がなかった会社員を新規就農者として取り込むのが狙いだ。会社員が

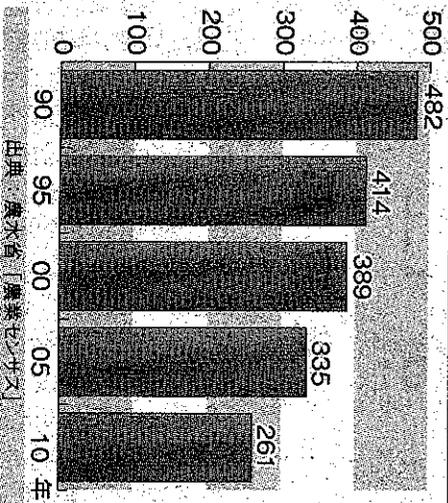
「週末農業」で経験を積みながら、定年退職後は専業農家になる道も開ける。まだ岩本司農林水産副大臣がアイデアを示した段階だが、実現すれば企業が社員の働き方の多様化を推進する取り組みに生かせそうだ。

(編集委員・嶋田歩)

週末農業のススメ

会社員、自宅近くで作業

日本の農業就業人口 (単位:万人)



勤務したまま150万円を給付する支払い切っけ会社を辞めても目指し、新規就農者1年通じがはつきりせず、思省は2012年度実施を業で生計を立てられる見原因となっている。農水<耕作放棄地が増える均年齢は66・1歳と高日本の農業従事者の平

働き方の多様化に道

いものが不安になる人はタイする例が多いと指摘。現在住む土地を離れ、多そう。そこで会社に勤めながら週末だけ農業を始める人が、岩本副大臣は「就農の業できる環境を整える方が農林水産省は、週末農業支援策が利



は将来の農業を担う大規模専業農家を育てる政策を打ち出してきた。やる気がある農家に耕作地を集中させて日本の農業の競争力を高めようとしている。週末だけ就農する会社員への支援が適切なかが議論になるだろう。

整合性が課題

「都市農業の振興に関する検討会」を催す農水省農村振興局農村交流課都市農業委員、週末農業は、週末望む会社員が70の農家に学ぶことも必要

の農地
●東京都練馬区

だけの就農者に対し「直

接金銭を支給しないやう

だが、社員が「マイク

ラ」に応じた働き方を選

ぶ方もある」として「農業学

校の受講料補助や、人手

がほしい農家を助ける

企業にとっては、週末農

業を有効活用できると

の参加を支援する方法が

だ。社員の退職後の第

二の人生に向けた準備を

ある」と見る。また会社

員が週末を利用して農作

業を学ぶ機会を提供し、

転身したい人をサポート

する制度などの組み合

わせが考えられる。

だが、

企業は社員の週末農業

を許すのかという問題も

ある。休日とはいえ副業

で農業を営み、軌道に乗

ったら会社を辞めて専業

農家にならうとする社員

に、中長期にわたる人材

育成計画に基づいた任務

企業の理解も

企業は社員の週末農業を許すのかという問題もある。休日とはいえ副業で農業を営み、軌道に乗ったら会社を辞めて専業農家にならうとする社員に、中長期にわたる人材育成計画に基づいた任務